

リノベーション事例シート(F案)

■After 建築名称 下段:英語名	トヨタ産業技術記念館 Toyota Commemorative Museum of Industry and Technology		
建築用途	大分類 展示施設	小分類 博物館	
改修設計者	竹中工務店	URL	
所在地	愛知県名古屋市西区則武新町4-1-35	Google Map	
改修年	1994年		
建築規模	鉄筋コンクリート造,鉄骨造,、木造/地上2階 延床面積: 27,127㎡		撮影者 提供者 桐原武志 2021年撮影
掲載書誌	ディテール No.167、近代建築 2005.5		
関連事項	賞:第48回BCS賞		
概要 after 紡織工場のレンガ壁や木造列柱を保存しながら、ノコギリ屋根のイメージのエントランスや自動車館が挿入され、産業技術の博物館として生まれ変わった。			
■Before 建築名称	旧豊田紡織本社工場		概要 before 大正時代のレンガ造りの工場建物
建築用途	大分類 生産施設	小分類 工場	
■写真 Before 紡績第二工場内観	After 繊維機械館: 林立する柱の大半は当時の木材をそのまま活用し再現している。	After 動力の庭より繊維機械館の煉瓦壁面: 経年の風合いを残しながら修復工事がされた。	
			
撮影 提供者 提供:トヨタ産業技術記念館 1992年頃	撮影 提供者 撮影:桐原武志 2021年	撮影 提供者 撮影:桐原武志 2021年	
■リノベーション内容	キーワード 用途変更、痕跡、引用	内容 ノコギリ屋根が幾重にも連なる紡織工場。リノベーション時には、そのレンガ壁や木造列柱を保存しながら現代のフォルムを挿入することで、産業技術の博物館として生まれ変わった。まず、大正時代に建設された紡績第二工場は、171本ものヒノキの柱が林立する木造列柱空間がそのまま残され、「繊維機械館」として再生された。創建時の姿が保存された機械繊維館に対して、エントランスロビーは光降り注ぐ現代の空間である。ノコギリ屋根のフォルムを継承しつつ新たなデザインによって大屋根が架けられ、かつての紡織工場のスケールを超えた劇的な大空間が実現されている。	
■備考	0		
■作成者 氏名/所属	桐原武志/Free JIA再生部会	管理者 記載	